

別紙

令和4年度 新潟県立燕中等教育学校4・5学年研修旅行業務 委託業者選定プロポーザル仕様書

※この仕様書は、令和4年度新潟県立燕中等教育学校4・5学年 研修旅行業務委託業者選定プロポーザルにおける、必要な事項を定めたものである。

1 旅行の目的

- (1) 英語圏での生活と研修施設における学習を通して、英語運用能力を高める。
- (2) 事前準備や研修中の交流を通して、自国及び他国の言語や文化について理解を深める。
- (3) 異文化体験を通して、自国とは異なる生活習慣や言葉の壁等を乗り越え、様々な人々と交流し、豊かな国際感覚を身に付ける。

2 旅行期間

令和4年10月の第2週以降から11月の第1週までの間に、10泊11日程度

3 旅行先

オーストラリアのケアンズ、又は英語を母国語とする日本人学生の受け入れを可能としている都市とするが、新型コロナウイルス感染症等で年度末までに渡航できない場合は、5年生のみ国内で上記1の旅行の目的を達成できる語学研修施設や都市に旅行先を変更する。

4 参加人数

4年生 83名、5年生 72名、引率教員 6名(予定)

5 予算

海外へ旅行する場合、生徒1人あたり 380,000円以内
国内へ旅行する場合、生徒1人あたり 120,000円以内
(税込み、事前・事後研修費用を含む)

6 旅行企画について

(1) 必須条件について

- (ア) 提案する海外の旅行先は、1都市以上とする。ただし、新型コロナウイルス感染症等の理由で年度末までに渡航できない場合、4年生については渡航を翌年に延期し、5年生については旅行先を国内に変更する。そのため、5年生向けの国内で旅行の目的を達成できる研修案も、1案以上提案すること。その際の旅行期間は令和4年10月から令和5年3月までとし、研修日数は2泊から4泊程度までとする。
- (イ) 渡航を延期する場合は、学校と予定を調整しながら、令和5年3月までに実施すること。
- (ウ) 旅行先での事故、病気、新型コロナウイルス感染症等へのサポート体制を充実させること。
- (エ) 旅行先には治安がよく、安全面について心配がない都市を選ぶこと。
- (オ) ホームステイを8～9日間、移動を2～3日間程度のプランとすること。(予算の関係で、日程を短くすることも可能)
- (カ) 現地学生と交流できるよう、学校が授業をしている期間とすること。
- (キ) 事前研修、事後研修も十分行えるものとすること。

(2) ホームステイについて

- (ア) ホームステイの形態と、現地での体験活動内容について、詳しく提案すること。
- (イ) ホストファミリーの決定時期と、トラブル等があったときの対応についても提案すること。(ホストファミリーの変更の仕方も含めること)
- (ウ) ホストファミリーと学校のバディは、同じかどうかを提案すること。(同じ場合と違う場合のメリットやデメリットもそれぞれ挙げる)
- (エ) 週末は、ホストファミリーと過ごす形態にすること。

(3) 希望する活動について

- ① ホームステイ(原則、生徒1人に1家庭を希望する)
- ② 現地学校での体験授業(学校訪問をし、バディとともに、授業に参加する。複数の学校に分かれて実施することも可能)
- ③ 語学研修(レベル別英会話授業や、異文化理解のための授業など)
- ④ 現地学校生徒との交流会
- ⑤ 体験活動(地域訪問やレクリエーション、異文化体験・国際交流などの教育活動)
- ⑥ 事前研修、事後研修(英語学習、国際及び現地理解に関する研修、生徒と保護者へのオリエンテーション、現地交流校生徒数名との、オンラインや電子メールによる交流、研修報告書の作成など)

(4) その他

- (ア) 上記仕様以外に、業者独自の付加価値・サービスを提案すること。
- (イ) 渡航までの事前研修の内容、回数などについても、できるだけ詳しく提案すること。

- (ウ) 新型コロナウイルス感染症等の拡大防止に伴う医療費などが発生した場合、旅行保険が使えるものには保険を適用し、保険が適用できないものについては別途徴収すること。
- (エ) 出国前に、出入国に隔離期間が必要であることが発覚した場合や、予定通りの渡航ができなくなりそうな場合は、キャンセル料が発生しないうちに、旅行を延期、又は中止すること。